

日没 「黄昏」と同じ。

日曜日 左の掌の上へ右の手甲を上にした拳をぼんと叩たき降す。

日光 太陽―照らす。

日当 一日(終日)―骨折―収入。

二倍 「一層」「その上」と同じ手まね。

二枚舌 右手の掌を左側にし指頭を上にした人差指と中指。人差指の方を口唇に十字

につけてから、くると掌を内側にして二指共に口唇につける。

荷物 (イ) 荷物を片手に掲げる身振。(ロ)

荷物を背負う身振。

入学 「学校」の手まねをして、「就職」

と同じ要領、即ち左手掌の上に五指の指頭を集め合わせた右手のその指頭をつけ、両手をそのまま前へ出す。

入費 必要―金銭

似る 同じ―ような。

二塁手 「一塁手」と同じ要領で右手の人

差指で「二」を表わす。

庭 「庭園」と同じ手まね。

鷓 五指の指頭を上にしたし掌を左側にした右手の親指の指頭を額につけ、五指の指頭を上にしたし掌を右側にした左手の親指を額につけ(右手は鷓のとさか)―鳥

俄かに 「急に」と同じ手まね。

認可 「許可」と同じ手まね。

人氣 男性或は女性を表わしたその位置に向って、掌を下に向けた五指をさし両面をそれへ集めて行く。人々の注意、人氣が集まるの意。

人間 人 「人間」「人」と云う人格的觀念の場合、人差指で「人」と空間に文字を書くがよい。これは文字とは云え、模写身振の手まねである。また、右の人差指と左の人差指で、「人」の文字形に交り合わせるがよい

人情 普通——人々心。
任務 「責任」と同じ手まね。

又

縫う (イ) 両手で縫物を持って縫う手振り
(ロ) ミシン縫い。右手でミシンのハンドルを廻し、左手五指を前方にさし掌を下に向けたのを縫物として、前方へ出して行く。

盗人 (イ) 「盗賊」と同じ手まね。(ロ) 盗む一人。

盗む 人差指をカギ形に曲げたのを前から引き寄せる。

主 男性(或は女性)を表わした手を稍々高い目にさし上げる。

沼 「池」と同じ手まね。

塗る 左手掌の上に、右手五指を刷毛とみなして塗る真似。

ネ

値上げ 「金銭」を表わしたそのままの手を、横へゆるい弧を描いて上へあげて行く。

値打ち 「適当」「叶う」と同じ手まね。

○「これは千円の値打ちがある」これ——千円——適当。

願う 「頼む」と同じ手まね。

猫 掌を前に向け五指の指頭を上にした手を握り拳にして同じ側の頬につけ前方から後へ小さい円を描いて頬をこする。猫の習性を真似たもの。

ねずみ 掌を下に向け、指頭を前方にさした人差指と中指の両手を口の夫々左右につけ二指を交互に小さく動かす。ねずみのひげを表わす。

妬む 「嫉妬」と同じ手まね。